

県連ニュース

2023年10月 NO.555号



『扇沢駅からトロリーバス』

滋賀県勤労者山岳連盟

2023年10月号 目次

・リレーエッセイ ムフな体験 山友会・坂口郁子

<案内>

交流山行案内 11/3 水質環境調査 比良雪稜会
交流山行案内 11/11 マキノ・赤坂山～寒風峠 県連
伊吹山の災害支援を検討している会員の皆様へ
11/11 ココヘリとドローンを使った捜査訓練 近畿ブロック主催
11/12 ハイキングレスキュー講習会 県連

<報告>

交流山行 8/19 夏エビネを見に高島トレイル「二ノ谷山」 ちごゆり山歩会
初級登山教室 8/26-27「沢上谷沢登り」
CSS報告 9/2 沢登り「比良・サカサマ谷」

第7回ZOOM理事会議事
近畿ブロック代表者会議議事録
近畿ブロック自然保護委員会報告

ぐうたら会長のつぶやき
10月～12月 行事予定表

表紙の写真

「扇沢駅からトローリーバス」
撮影者：山友会 川口 辛二
撮影日時：2023.7.30

ムフフな体験

大学生の頃はスキーに夢中だった。時間はあるけど、お金がないのが学生の常で、せっせとアルバイトするも道具を買うのが精一杯でなかなか泊まりで滑りには行けなかった。そこで、スキー場のあるペンションや民宿で働くことにした。お客さんが滑りに行った後、大急ぎで客室や風呂の掃除をやっつけて、夕食の仕込みが始まるまでガツガツ滑った。夜も宿の仕事は忙しく朝も早かったが、少しでも滑らせてもらえるならそれでよかった。ペンションや民宿はそこに住み家族で経営されていることが多く、冬の間ずっと寝泊りしていると、土地の言葉や文化が馴染んでくる。奥さんが漬ける野沢菜や、ペンションの窓から見える新雪を被った朝の白樺の森が大好きだった。友達は彼氏と遊ぶのに夢中だったが、私はずっとスキー場にいる生活が気に入っていた。

信州にも行ったが、滋賀の箱館山のふもとの民宿では特に長くお世話になった。宿の主人は函館山スキー場でパトロールの仕事をしており、一緒に山に上がってスキーでパトロールについて回った。フォームもちゃんと習ってないがここでスキーを覚えたように思う。宿では接客だけでなく雪かき、屋根の雪下ろし、今津の町までの買い出し、ちびっ子のお守り、副業のたばこの苗植え、いろいろ手伝ってはいたが親戚の娘のようにただで居候させてもらっていた。

ある冬、この箱館山の村が大騒ぎとなる。悪い事件ではなく、スキー場にテレビの撮影が入るというのだ。当時の時代劇では有名な「銭形平次」だ。(年齢がバレる!) 銭形平次は大川橋蔵、その他日野正平、田中浩(「ワンパクでもいい、たくましく育てほしい」というハムのCMのおじさん)らの俳優さんや美しい女優さんが村の宿に分宿するというので、村は大盛り上がりとなった。私のいた民宿には誰も泊まらずがっかりしていたら、スキー場でエキストラの仕事が待っていた。(時代背景がよくわからないが、)金塊を盗んだ盗賊が束になって雪山を滑って逃走していくというシーン撮りだ。函館山スキー場一番の急斜面をスキー場職員と居候(私)の10人がかたまりになって直滑降するのだ。かなりのスピードが出るので接触すると大げかになる。スキー板は茶色のガムテープで覆い、ストックは青竹、忍者のような衣装、覆面、そして私の被ったカツラの裏には根津甚八と書いてあった。(今気付くが東映やんっ!)手を振りかざしたり大袈裟なアクションの指導を受けていざ本番。直滑降でスピードが出すぎて怖くなり横に逸れた人がいて、一本目は取り直し。二本目はOKが出てすぐに出演料¥4,000をもらった。「銭形平次に出演するから観てや」と知り合いに言いまくって、放送当日家族みんなでテレビにかじりついていたら、そのシーンはほんの2~3秒で過ぎ去り録画もないので自分がどれかも分からず、だいが気まずかった。でもよく考えると、役者さんにはやらせられない危険なアクションシーンをやったわけなので、エキストラではなくちょっとしたスタントマンではないかと思ったりする。ともあれ、すごくおもしろい体験だった。


仕事をリタイアしてから、縁あって登山に誘ってもらいその魅力に取りつかれているわけだが、自分が山に登るとは思っていなかった。つい先日燕山荘に宿泊したとき、食堂で働く若者たちを見てふと昔の自分を思い出した。自然の中に身をおくこと、身体を動かすこと、いろんな人との出会いを楽しむこと・好きなことは自分の中に根付いているんだなと感じる私がいる。

坂口郁子(山友会)

2023 年度

10 月号

交 流 山 行

A) 山行日程	11月3日(金・祝)	企画会名	比良雪稜会
山域・山岳名	比良山系 〈自然環境調査：放射線測定・採水調査〉		
集合場所・時間	和邇川 河川敷 7:00 (参加者には地図を送付します)		
詳細コース	<第1班> 大橋スリバチの水 方面 坊村 ⇒ 大橋スリバチの水 ⇒ 南比良峠(昼食) ⇒ 摺鉢山 ⇒ 白滝谷登山口の湧水 ⇒ 坊村 ⇒ 権現山登山口の湧水		
	<第2班> 荒川峠方面(採水 3カ所・放射能測定 11カ所) イン谷口 ⇒ 八雲ヶ原水場 ⇒ 南比良峠(昼食) ⇒ 荒川峠道の湧水 ⇒ 中谷出合登山口 ⇒ 金比羅道の湧水		
参加受付	比良雪稜会 西村	メール	kazuyo.buna@river.sannet.ne.jp
受付締切	10月27日(金)		

B) 山行日程	11月11日(土)	企画	滋賀県勤労者山岳連盟
山域・山岳名	マキノ/赤坂山～寒風峠 〈自然環境調査：放射線測定調査〉		
集合場所・時間	●JR 堅田 7:00 ●マキノスキー場高原温泉さらさ駐車場 8:30		
詳細コース	マキノスキー場 ⇒ 谷川えん堤 ⇒ 送電線鉄塔 ⇒ 栗柄峠 ⇒ 赤坂山 ⇒ P841 手前鞍部 ⇒ 寒風峠 ⇒ 大谷山 ⇒ 寒風峠 ⇒ 西山林道分岐 ※(時間的・体力的に余裕があれば、寒風峠から大谷山の往復します)		
参加受付	県連 自然保護部 田中武範	メール	t.y.tanaka1@outlook.jp
受付締切	11月4日(土)	携 帯	090-6829-3734

※**申込時の注意**(所定記入内容事項)……問い合わせ・申込は必ず**メール**で願います

①所属会名 ②氏名 ③住所 ④生年月日 ⑤携帯番号 ⑥血液型 ⑦**労山基金口数**

※申込者の情報は、登山計画書の作成に必要となりますので、間違いのないよう願います。

～交流登山／比良雪稜会～

第24回比良山系飲み水水質調査・第9回放射線測定山行

長い間、比良雪稜会が続けている自然保護活動のひとつです。
2コースに分かれて出発しますが、両コースとも南比良峠で昼食予定です。
毎年会えるかどうか楽しみです！！一緒にませんか？

◇日時 11月3日(金・祝) 7:00 **和邇川河川敷に集合**(参加者には地図を送ります)

※集合場所は、和邇駅及び現地可能要相談

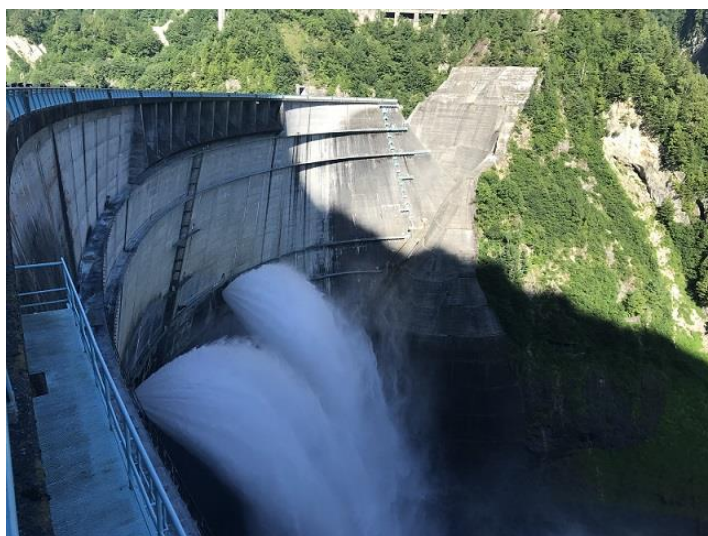
◇コース

- 1班 大橋スリバチの水方面 <採水3ヶ所>
坊村～大橋スリバチの水～**南比良峠(昼食)**～摺鉢山～白滝谷登山口湧水～坊村
=権現山登山口湧水
- 2班 荒川峠方面 <採水3ヶ所・放射線測定11ヶ所>
イン谷口～八雲ヶ原水場～**南比良峠(昼食)**～荒川峠道湧水～中谷出合登山口
=金比羅道の湧水

◇申し込み先 西村(比良雪稜会) メール kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

◇締切 10月27日(金)

※この事業は、平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」(右➡)の助成を受けて実施しています。



黒四ダムの観光放水 (2023.7.川口辛二)

2023年度 滋賀県の山・登山道の放射線量測定山行

- ◇山城 : マキノ赤坂山～寒風峠
- ◇日時 : 2023年11月11日(土)
- ◇集合 : JR堅田駅 7:00、または、マキノスキー場高原温泉さらさ駐車場 8:30
- ◇コース : マキノスキー場→谷川堰堤→送電線鉄塔→栗柄越→赤坂山→
P841手前鞍部→寒風峠→大谷山→寒風峠→西山林道分岐
(寒風峠から大谷山の往復は時間的、体力的に余裕があれば歩行する予定です。)
- ◇申し込み締切り : 11月4日(土)
- ◇申し込み先 : 県連・自然保護部長 田中武範 t.y.tanaka1@outlook.jp

※滋賀県高島市は、原子力発電所が多数立地している福井県若狭地方に接していますが、山に関心がある会員に滋賀の山野での環境放射線について知見を広めるため、滋賀県連が毎年実施している山行です。)

※申し込みをされる方は、住所、氏名、所属会名、年齢、血液型、遭対基金口数、携帯電話番号を記載ください。

…問い合わせ先…

県連理事：田中武範 (090-6829-3734)



“伊吹山の災害支援”を検討している会員様へ

7月12日の大雨により、伊吹山への登山が禁止になっていることはご存じと思います。

返礼品のないふるさと納税制度で災害支援ができます。

伊吹山が整備されて、また登山が出来るように願って、ご協力お願いします。

次ページの寄付申請用紙に記入して、f a xまたは郵送してください。

滋賀県米原市ふるさと寄付申出書（災害支援用）

米原市長 宛

申込日： 年 月 日

自治体CD:252140

次のとおり、寄付 をしたいので申し込みます。
(本申込書は、郵送、またはファックスでお送りください。)

▼寄付者情報					※ 個人情報の取扱いについて 寄付金の受付、入金に係る確認・連絡等に利用するものであり、それ以外の目的で使用するものではありません。				
フリガナ					電話 番号				
氏名									
住所	〒 都 道 区 市 府 県 郡								
mail									
情報公開	<input type="checkbox"/>	承諾する	<input type="checkbox"/>	承諾しない	※ 承諾された場合は、氏名・住所(市区町村名)・寄付金額等を市ホームページや 広報誌などで公表させていただく場合がございます。				
ワンストップ 特例申請書	<input type="checkbox"/>	希望する	<input type="checkbox"/>	希望しない	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年 月日	年 月 日	※ 給与所得者等がふるさと納税を行う場合、確定申告 をせずに寄付金控除を受ける申請です。ただし、年間5 団体以内の寄付の場合に限ります。	

▼寄付情報								
金額				円	※ お礼の品ありません。 ※ 年度内、何回でもご寄付いただけます。			
入金 方法	<input type="checkbox"/>	銀行振込	滋賀銀行 米原支店（普通）口座番号 101076 口座名 マイバラシカイケイカンリシャ ※上記寄付者情報に記載のお名前をお願いします。				手数料は ご負担ください	
	<input type="checkbox"/>	自治体窓口	※滋賀県米原市米原1016番地 米原市役所 シティセールス課 窓口にてお支払いください。					
※ クレジットカードでご入金の場合は、「ふるさとチョイス」からお申込後、決済画面から ご決済をお願いいたします。								
用途	<input type="checkbox"/>	令和5年7月豪雨による伊吹山登山道崩落						

▼ 米原市へのご意見・メッセージがございましたらご記入ください。				

<お問合せ先>

■ ふるさと納税全般に関するお問合せ先
米原市役所まち整備部経済振興局
シティセールス課
TEL 0749-53-5140
FAX 0749-53-5139
メールアドレス: furusato@city.maibara.lg.jp

ココヘリとドローンを使った搜索訓練

ココヘリは、遭難者の居場所を電波を使って、搜索する側が「探し出せる」、唯一の手段です。

ココヘリの会員数は約 5 万人（2023 年 8 月時点）。多くの人が利用しているように思えますが、全登山人口からみると、ほんの一部です。

今回、ココヘリのドローンサーチのオペレーターの方にご参加いただきドローンでのココヘリの搜索デモを行います。訓練内容の詳細は 11 月の労山ニュースにてお知らせさせていただきます。

ココヘリに加入されている方はご自身が普段携帯している端末が親機にどのように搜索され発見に至るのかを実際に見ることが出来数少ない機会になりますし、現在、ココヘリに加入されていない方にとってもココヘリの有用性を知っていただける機会になると考えます。

こんな機会はまずありません。皆様の参加をお待ちしております。

■日時：11/11(土) 8:30~14:00 を予定しています

■集合場所：千刈ダム駐車場広場（変更になる可能性があります）

■訓練場所：大岩ヶ岳周辺（変更になる可能性があります）

■参加資格：労山会員であればどなたでも参加いただけます

■内容 ドローンを使用してのココヘリ搜索のデモなど

■申し込み先：11月4日までに下記 URL にアクセスし必要事項記入のうえ送信して下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfsEgVwE9V-jLzZrvQJXZF-YZkCImu7h-UHuEpZR3WqsxU_QQ/viewform

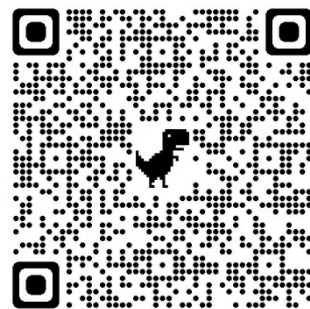
■その他ご質問など

下記メールアドレスお願いします。

owaf.rescue@gmail.com

メールの件名：「搜索訓練」

氏名・所属会をお願いします。



搜索訓練担当 上村光司

案内

「ハイキングレスキュー講習会」(県連主催)

日時 2023年11月12日(日) 受付8時30分 9時~15時

受付・集合場所 皇子が丘公園 駐車場 (湖西道路直下) 東屋

会場 千石岩直下の斜面 集合場所から徒歩で移動(15分)

持ち物 山行時の日帰りハイキング装備

緊急時に備えて常々携行しているスリング・カラビナ、細引き

内容 細引きの結び方、簡易ハーネスの作り方、
カラビナスルー、事故者の所まで行くために細引きで丸結びを使った斜面の降り方登り方の技術習得

★ 申し込み先は、各会の窓口へ 11月5日(日)〆切

滑落・転倒の多くは、「難所」などではなく、通常の登山道で発生していることが多いという報告もあります。

緊急時の対応を知っていると安心です。

危険なところなんか歩いていない、事故なんて起こらないと思っていませんか。

何が起こるかわかりませんが、万が一の時に、一度でも体験していると、慌てることなく対応できます。そのためにも講習会に参加しましょう。

たくさんの方の参加をお待ちしています。





夏エビネを見に高島トレイル「二の谷山」へ

8月19日(土) 天候 晴時々曇り

今回は県連の交流山行として計画しましたが、残念ながら他会からの参加者はなくちごゆりの会員8名で行きました。

二の谷山は、高島トレイル全80キロのちょうど中間点にあたる標高608mあまりの低い山。

近江今津駅をタクシー1台マイカー1台に分乗して水坂峠へと出発。峠に9:30着。ちょっとした空地にはすでに車数台が駐車されていた。

準備をして9:45 登山開始。登山口から10分ほどの鉄塔を過ぎると急登が始まる。ここで下山してきた人からエビネの情報を得る。風もなく汗がふき出る。急坂の途中からは武奈ヶ嶽の大きな山容も望め、シャクナゲの木も多い。暑いので何度も休憩をとって、10:45 やっと尾根の上に出た。最初の急坂が終わった。



稜線に出ても風はなく汗、汗・・・すると、教えていただいた

第一夏エビネ発見!! 付近にも何株かが咲いている。「優雅やねえ、美しい色やねえ」下見の時よりもずっと手前に咲いていた。

最後の短い急坂にさしかかるまで2回ほどアップダウンの道が続き、ところどころに咲く夏エビネに癒され歩く。

頂上手前の暗い杉林の急登、ここにも

夏エビネ咲いている。誰もが夏エビネを求めて歩くので道がわかりづらい。

急坂を登り終え台地状の道を数分進むと高島トレイルと二の谷山への分岐に着く。道標があるが季節によっては木に隠れ見えにくい。(反対側の桜峠から登ってくるとよけいにわかりづらい)

山頂は北西方向へほんの少しで着く。(12:05) 林のなかで「これが頂上?」といった感じである。シャクナゲの大木が1本あり、北に少しだけ開けていて赤坂山の明王の禿が見えるぐらいだ。

12:45、昼食をすませ下山にかかる。2か所の急坂を無事に下り、14:30 水坂峠に到着。マイカー組とここで別れ保坂のバス停へ向かう。林道を30分くらい、日向の道が待っていた。バス停は日陰でありがたかった。

「夏エビネ」は「絶滅危惧種Ⅱ類」いつまでも咲いていてほしい。

(記 : 柴田久 ・写真 : 高山 大野 谷川)



2023 年初級登山教室

2023.8.26～8.27 沢上谷沢登り

スタッフ L:T 内 (OT) SL:N 森 (OT) T 本 (山友) S 水 (比良雪)
受講生 : S 藤 (山友) T 本 (山友)

8/26 杖石農産物直売所駐車場泊 (前泊)

8/27 沢上谷遡行

【タイム】 7 : 15 入溪 = 7 : 50 五郎七郎滝 = 9 : 03 岩洞滝 = 10 : 12 蓑谷大滝 = 11 : 45 遡行終了

❖ 一口感想 ❖

T 内

「前日午後と夜中に雷雨がありましたが沢の増水はほとんど無く、ナメ沢を無事遡行することができ、良かったと思います。皆さん元気で後ろにつくと付いていくのが大変だったのは私の体力の低下もありますが遅れることなく確実に安定して登れたのは皆さんの力量ですので自信を持ってください。難しい箇所はさほどありませんがどこを登るのか、大滝落ち口へはどのように下降するのかなど特に古い固定ロープを利用する場合に安全上留意することはいくつかあったと思います。今回に限りませんが沢登りについてもクライミングや危険個所の通過など今後の (自身の) 安全につながることを期待します。」

T 森

前泊日、実技実施日とも午後は天気が崩れる予報でしたが、遡行中は晴れ間ものぞき、平穩無事に 2 度目の沢実技を終了できました。

雨後でもそれほど増水も無かったようです。

参加できた受講生が少なかったのは残念でしたが、参加者にはナメの続く沢歩きや個性豊かな大滝を楽しんでもらえたようでよかったです。

蓑谷大滝後に出てくる 15m スロープは、支点が頼りない木に結ばれている写真を見ていたので、全くロープに頼らず登ろうとして 2、3 度滑りました。

上まで登ってみると、2 本のペツルボルトに付け替えられていました。

1 点気が付いた点として、受講生のみなさんは泳ぎやシャワークライミングにも挑戦されていましたが、こちらから見えないと、もし溺れたりしてもわからないので、念のため一言声を掛けてからやっていただくとよかったです。

S 水

今回 3 度目の沢登り。前日の大雨や朝の曇り空。水温や水量など心配なことばかりのスタートだったが、

少しずつ天気も良くなり、きれいな景色や長く続くなめ床、迫力ある滝に魅了されながら楽しく進むことができた。初心者にも優しい沢だったが、高巻きして登り降りするときロープだけに頼らずしっかり見て降りなければいけないところもありクライミングの技術も必要になる。繰り返し経験を重ねながら、今まで教えていただいた事を生かして安全に山行を楽しめるようにしていきたい。宿泊を伴う山行で雷ピカピカ、雨の中のテント泊だったが、悪路の山道も含め長時間、運転してくださったり、おいしい食事を準備していただいたり、皆さんには大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

Ts 本

今回初めての飛騨沢上谷の沢登りは、なんとといってもその美しさに圧倒されました。遡行のはじめは大小の岩と小滝が続く歩きやすい沢という印象でしたが、五郎七郎の滝では幅 10 数メートルにも及ぶナメが続く景色はとても美しいものでした。その後もだんだんと高度を上げていくにつれてナメが増えてきて、どうしてこんな溪流ができたのかと不思議に思いながら楽しく歩きました。河床も灰色の岩に軽石のような斑点があるものは滑りにくく、赤茶色い岩は少し滑りやすいなど、その変化も興味深いものでした。スケールの大きな岩洞滝、レースのような模様を描いて落ちる蓑谷大滝はこの沢登りならではのビュースポットでした。

受講生の方は滝登りや釜を泳ぐなど積極的にアプローチされていて、そのパワフルさに感心させられました。今回技術的に困難な場所はなかったと思いますが、今後とも慎重にかつ楽しく山行ができるようさらに経験を積んでいきたいと思います。案内いただいたリーダー・講師をはじめ食事担当や運転の交代など、皆さんありがとうございました。

S 藤

大変な美溪を目の前にして終始興奮しっぱなしでした。長いナメ歩きに大感激し、兩岸の濃い緑の樹々の中、岩場の岩を越えて行くのも、楽しい！朝方は寒いくらいだったのが9時頃には気温が上がり、ちょうどよい沢歩きだったと思います。赤い岩石が印象的な岩洞滝では滝裏にも行けて物珍しいことこの上なく、菘谷大滝は大迫力の水流、滝の大ボスの顔をしてました。菘谷大滝までたどり着いた後は、斜度のある斜面をあくせくと登り、この日初めての山登りをしましたが登ったと思ったら下りです。木に括り付けてある古ロープを片手に懸垂下降並みの下りをし、最後のナメ歩きをして、名残を惜しみながら沢上谷に別れを告げました。歩くほどに沢歩きに慣れてきましたが、怪我なく終われて良かったです。テントにも泊れ、一緒に楽しく鍋を食べ、大満足です。

また、1泊2日の山行に2回も違う温泉に入浴し、なんとも贅沢な沢登りでした。ご同行して下さった皆様

本当に有難うございました。

Tn 本

地理感覚が無く、沢上谷はそう遠くないと思っていましたが札幌から道東の釧路までの距離だと言うと結構な遠征だったんだなと分かりました。沢上谷はほぼ滑床の綺麗な沢で、一枚岩の壁に流れる大滝は大迫力でした。スタッフの方々は先頭と最後尾で私達を見守って下さり安心して小さな釜の泳ぎやプチクライミングを楽しむことが出来ました。

しかし、登山は自己責任ですからリスクヘッジ出来る山家でありたいと思います。

皆様、準備の段階から大変お世話になり本当にありがとうございました。



C S S 報告

比良・サカサマ谷沢登り

2023年9月2日（土）晴れ雲やや多し

参加者：N（オフトレイル・CL）、T（滋賀山友会）

コースタイム 入溪 8:05

8:57 権現山方面沢分岐

9:04 ルートミス 9:49

10:43 源頭付近

11:02 小女郎ヶ池 11:52

12:55 林道

初級登山教室のオプション山行として1泊の沢登りを計画していたのですが、日程・参加者とも調整が付かず、予定を変更して、沢好きの受講生Tさんと日帰りで比良のサカサマ谷に行ってきました。サカサマ谷は比良ではマイナーな沢ですが、小滝メインで難所も無く、遡行時間もそれほどかからないので、気軽に入る沢としてよさそうです。

比良の朽木側（西側）から小女郎ヶ池へと突き上げる主な谷は、北からヘク谷、サカ谷、アゼチ谷、サカサマ谷となりますが、サカサマ谷はその一番南の谷になります。

小女郎ヶ池で大休止し、アゼチ谷左岸尾根から下山しました。

詳しくは、山の会オフトレイルのブログをごらんください。

<https://norabeko.blog.fc2.com/blog-entry-338.html>



2023年度 第7回 ZOOM理事会 議事録

日時 2023年9月6日(水) PM8:00~9:00 リモート会議

□リモート出席者 友永・田中政行・川口・藤野・田中利彦・川嶋・山元・宮内

□欠席 田中武範・菅

議題・報告

1 第61回登山祭典(10/22 日曜日 予定)

1. 各会7月末コース決定後校正 8/7 ちらし発注 8/14 着 300部 2660円
雪稜会 200部郵送 オフトレイル 20部手渡し

・一般参加の短期掛け捨て保険代が8/1~250円にアップ

県連で一括申請していたが、各会でお願いしたい。清掃登山についても同様にしたい。
理由・リモート会議になり、各会からの回収が困難。

10月の登山祭典から各会処理に変更する。(参加者のキャンセル補填は県連持ち出し)

2. 初級登山教室

- ・7/23 実技 沢登り (県連ニュース9月号掲載済み、HPアップ済)
- ・8/23 座学 クライミング3
- ・8/26-27 実技 沢登り「奥飛騨高原川上沢谷」受講生2名 スタッフ4名 実施済

3. 初級読図コース

- ・3回目 9/30 「長等山」現在9/6 HPから3名+会員1名の申し込みあり
- ・4回目 最終11/26 「穴太・壺笠山」

4. 各部からの報告

機関紙部……県連ニュー10月号(9/15ㄱ切)

○リレーエッセイ・写真(山友会) エッセイ・坂口郁子 写真・川口辛二

○報告 8/19 交流山行「二ノ谷山」報告(ちごゆり) 部外参加無し

8/26-27 初級登山教室 沢登実技 報告

CSS 9/2 沢登 報告

○伊吹山災害支援 米原市への支援申出書1P

○11/12 ハイキングレスキュー 案内

○交流山行原稿 11/3 比良雪稜会 放射線量測定・水質検査山行

11/11 県連 放射線測定山行

○近畿ブロック代表者会議 8/23 議事録(大阪労山)

○近畿ブロック自然保護委員会 8/25 議事録(リモート会議)

自然保護部……8/25 近畿ブロック自然保護委員会(リモート会議 友永出席)

放射線量測定山行 比良雪稜会 11/3(交流山行として)10月号で案内

県連 11/11 土曜日 実施予定 10月号で案内

組織部・・・ 交流山行

・「海外登山案内 2 件」オフトレイル 8 月号 申し込み状況

10 月韓国ツアーに雪稜会 2 名の申し込みあり、オーストラリアツアーは、無し

合計人数 比較 ↓	山友会		岳友会		雪稜会		ちごゆり		オフトレイル		シャクナゲ		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	33	40	18	10	22	18	7	14	6	3	3	2	89	87
7月/6月	73	72	28	28	40	42	21	21	9	9	5	5	176	177
	/	1	/	0	/	-2	/	0	/	0	/	0	/	-1

合計人数 比較 ↓	山友会		岳友会		雪稜会		ちごゆり		オフトレイル		シャクナゲ		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	34	40	18	10	22	18	7	14	6	3	3	2	90	87
8月/7月	74	73	28	28	40	40	21	21	9	9	5	5	177	176
	/	1	/	0	/	0	/	0	/	0	/	0	/	1

財政部・・・清掃登山 米原市 10000 円 入金確認済 多賀町 10000 円7月末入金あり

・竜王町 10000 円 問合せで、結果報告は提出していたが、請求書漏れが発覚
至急請求書を郵送する。

教育遭対部・・・

- ・ 11/12「ハイキングレスキュー講習会」実施決定 場所 千石岩 直下の斜面
スタッフの事前練習日 10/21 土曜 予備日 11/5 日 で調整
各会にスタッフの氏名の提出をお願いします。

予定、各会の機関誌に案内原稿の掲載を依頼 原稿提出の締め切り日の確認

岳友会 10/20 発行 10 月号に依頼 9/10 まで

雪稜会 20/25 発行 10 月号に依頼 9/20 まで

山友会第 3 号 10/19 発行 10 月号に依頼 9/19 まで

事務局

・事故報告

8 月に雪稜会で事故一報 2 件あり、交付申請書に捺印する

8/1 75 歳男性 転・滑落 右前頭部挫傷 パランスを崩して後方へ 1m 転落
個人山行 2 人パーティ

白馬乗鞍岳 天狗原を過ぎ白馬乗鞍岳登り 2350m 地点 自力下山

8/5 75 歳男性 転・滑落 道幅の判断ミス 踏み外し 1m 滑り落ちる

例会山行 奥大日岳から大日岳方面の登山道 自力下山

・HPに伊吹山災害支援寄付をアップします。米原市から入る掲載を考えています。

5. その他

★近畿ブロック代表者会議 8/23 19 時～(大阪) 友永出席 報告

★「気象講習会」については、来年度以降で改めて検討する。

6..全国連盟の会議予定等の連絡事項

- ・全国ハイキング学校 9月 30 日(土)～10 月1日(日)(主管・奈良県) 9/30 宮内 予定
- ・若手クライミング講習会 9月 30 日(土)～10 月1日(日) 長野県小川山

メモ

- 2024 年度原水爆禁止・国民平和行進(67 回目)の県連担当を決める
- 近江湖南アルプス自然休養林運営協議会山元事務局長から、登山道整備等協力依頼
- 来年度「伊吹山」清掃登山について、米原市と連絡をとる

次回 10 月は 第 8 回ZOOM理事会 10/11 水曜 PM8:00～9:00

近畿ブロック代表者会議 議事録

2023.8.23 19:30～21:10 大阪労山事務所1階

大阪(高橋・大見・西村・救助隊員の4名)・京都(坪山)・兵庫(門脇・救助隊長)・奈良(永井・)滋賀(友永)・和歌山(山入)・全国(野々脇理事)

次回会議は 10 月(調整中)

1. 各府県連盟 主な活動報告

大阪…月刊ニュースで報告

京都…6月末ハイキングレスキュー講習会 40 人参加。初級登山学校を開催

兵庫…総会を6/13 に開催。高齢化問題と六甲のトイレ問題が課題。行政と交渉できる余地も見えてきたが実現できるのは長期間になる

奈良…9/30-10/1 の全国ハイキングリーダー学校の主管。30 人が限度で募集中。

滋賀…クリーンハイキング 13 コースで実施。伊吹山の閉店した売店の廃棄物。行政に報告し処理を要請。初級登山教室も実施。

和歌山…来年1月 50 周年。記念誌の発行と講演会(前鹿屋体育大学教授・山本正嘉氏)交流山行を企画

2. 来年の搬出技術講習会と救助隊の在り方について

結論)近畿ブロックとして技術交流会の日程を決めて取り組む

2024 年近畿ブロック搬出技術講習会の募集はリーダー層にする(クライミング主管・兵庫。ハイキングレスキュー・奈良)

兵庫門脇理事長さんから提議…今までは初心者も応募範囲だった。リーダー層にすべきではないか。これまでの形式でいくと中身はいいが後継者やリーダーが育たない。

高齢者が多いのも課題。今までの実施方法を改める必要がある。旧来実施してきた近畿ブロックとしての技術交流会も必要だと考える。

大阪西村(救助隊長)後継者の育成をメインに考えている。技術交流会では和歌山などにも参加。今まで秋の搜索訓練にも参加を提案してきた

今年は 11/11 に搜索訓練をするのでぜひ参加してほしい。主目的は行方不明を防ぐこととココヘリの普及。詳細が決まり次第お知らせします。

救助隊の実体としては若い運営委員が増えている。若返りをはかってバトンタッチしたい。新しい人を増やすための工夫としては敷居を高くしないこと・クライマーは主体性はあるが私的時間をとれるのを避ける傾向にある。問題視される傾向かもしれないが、主体性を持って取り組んでくれている。このようにクライミング技術だけでなく主体性をもって得意分野で参加してもらおうような環境をつくるのが運営として大切だ。

兵庫…運営委員は減ってきている。近ブロ搬出の来年主管

奈良…来年ハイキング部門の担当。救助隊は県連としてはなく、県連所属の奈良労山(会員 110 人中 20 数名が救助隊を組織)が救助隊として活動 ハイキング搬出、11/12 実施

和歌山…2025 年ハイキング部門担当

京都…救助隊後継者不足。高齢化。富士山の事故後、訓練できていない。来年から組織部に統合

門脇…近畿ブロック搬出技術講習会は近ブロとして方向性をだし、募集範囲はリーダー層にするべきだ。

滋賀…クライマーは減っているが志向している人は確実にいる。所属会をこえてグループで活動している。

3.「2023 年度登山の筋力測定と講習」をめぐって…今年は大阪と共催。63 人の参加。いずれは近畿ブロックとして開催したい。来年度の予算で大阪と兵庫で予算化を要請する

4.雪崩講習会 京都坪山さんから実施内容と予算提案

…座学 12/2.12/3 締め切り 11/12 2024..1/20 出発 バスで大日に。1/21 実技…帰阪

5.その他

やぐらウインチの修理費…近畿ブロックとして経費を請求することになった。約 24 万円

全国理事野々脇…9/末のハイキングリーダー学校に各府県連からぜひ参加を

近ブロ自然保護部会報告 2023.8.25

参加者 澤村(大阪)、平尾(京都)、中原(兵庫)、不明(奈良)、友永(滋賀)

活動報告

兵庫 六甲山労山の森植林活動…林道の土砂崩れのため入山禁止中。

9 月 3 日クリーンハイク実施 21 の会が参加予定 300+人?

年 6 回六甲山を中心に実施 ゴミは少なくなっている。

9 月 2 日京都府連主催の自然保護セミナーに参加予定

京都 北陸新幹線延長反対署名 8455 人分追加。

9 月 2 日「新幹線延伸問題」で自然保護セミナー実施 京都教育文化センター

奈良 7 月 15 日春日山でちびっ子登山隊&自然観察会実施 スタッフ 4 人 大人 6 人 子供 7 人

自然保護学習会「気候変動対策と原発」日時不明。

8 月 27 日水質調査報告書を使っての学習会実施

大台ヶ原植生再生応援団募集中。

8 月 5 日平城京跡近くのヨシ原でツバメの巣観察会実施

平群町メガソーラ工事再開

大阪 立ち枯れ定点観察中…回復傾向にある。

雷鳥目撃情報なし…中央アルプスで大幅に増加中

滋賀 風力発電の現状について質問があった。

現地調査の計画があるが実施日は不明

その他 友が島プラスチックごみ調査を岡山と合同で実施したい。

10 月 22 日か 29 日 大規模には行わない

次回会議 10 月 20 日

ぐうたら会長のつぶやき

最近は毎日のように遭難の記事が紙面ににぎわっています。7月と8月に起きた山岳遭難は738件、前年より70件増、遭難者は809人、前年より23人増えているそうです。死者・行方不明は61人で前年より16人も増えています。都道府県別では、長野県101件、静岡県76件、富山県56件とアルプスを抱える県が多いのは当然ですネ。滋賀県は15件で京都の3件に比べると少し多いようです。鈴鹿や比良を抱えているせいですかね？ 様態別では、「転倒」と「道迷い」が半数近くだそうです。みんなが行くから私も行くというような、知識も技術もない人がフォームに浮かれて登っているような気がします。道迷いも転倒も防げる事故です。地図は読めなくても最低限自分の歩くコースは事前に調べていて欲しいものです。転倒は下山の途中で起こりやすいものです。頂上に登って安心し、ホッと油断をしがちです。行動の後半で体力も落ちて、足の筋力も低下しています。まして上から下を見るなんて普段なかなかないので、距離感がつかめないこともあると思います。足をきちんと置いたつもりが、ほんの少し足りずにバランスを崩すことも多いと思います。

最近の遭難を見ていると、動けなくなったとか、水が無くなってしまったなんて、「まるで散歩に出かけるように」なんて、昔流行った歌のような、登山以前の問題が多いようです。低くても山は山、引力に逆らって登り、引力に抗いながら下る、異常に体力がいる体に負担のかかる行動です。登山がスポーツなら、登山者ほどトレーニングをしていない人が多いそうです。山に登るのがトレーニングだとうそぶく人もいます。まるで以前の私！ 特別なトレーニングも必要ですが、普段から車を使わず歩いたり、エスカレーターやエレベーターを使わず階段を上ったりとしたいものです。え！もうしているって…。

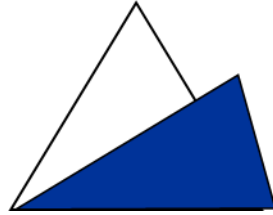
兵庫では高齢者の筋力アップのための講習会なども開いているようです。山筋ゴーゴー体操などもおこなっている県連も多いと聞きます。長く登山を続けるためには健康な体と、適切な筋力が必要です。普段から心がけて末永く登山を楽しみたいものです。

最後に有名なウインパーさんの言葉を紹介したいと思います。高山だけでなく、低山でも通じる言葉だと思います。

「山に登りたいのならば登りたまえ、と言いたい。だが、いくら勇気や体力があろうと、慎重さを欠いたら何にもならないということを肝に銘じておいてほしい。一瞬の不注意が一生の幸福を台なしにしかねないことも、忘れないでほしいものだ。なにごとも、あわててやっではいけない。一步一步をよく確かめることだ。そして常に最初から、結果がどうなるかをよく考えたうえで行動してほしい」

さらにこんな言葉も残しています。「山に登る者は、常に確固とした目的を持つこと、あるいは忍耐を身につけることを尊び、無謀な行動を卑しんできた。どんな山に登るにしても、一歩進むにも忍耐と苦しい努力とが必要であり、努力もせずに成功を望んでも無駄なことを我々は知っている。意志があれば道は自ずから通ずることも知っているのだ」

みなさん頑張って山行を続けましょう。もちろん事故を起こさずにですヨ！



2023年11月号の原稿は、10月15日〆切です。
11月号のリレーエッセイ、写真共の担当は湖南岳友会です。

原稿の投稿先は 宮内 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp
藤野 kawahaakebono@gmail.com
菅 nokomama.2016@gmail.com

用紙サイズは A4、フォントは本文11～12、タイトル14～16、余白は19mmとし
原本とPDF で、写真は PDF でお送り下さい。

『県連ニュース2023年10月 NO.555号』

発行日：2023年9月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0047
大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F
大津市市民活動センタースモールオフィス内
メールボックス NO13

Email shigarosan@gmail.com
ゆうちょ銀行(店名418)
普通 0239956
<https://www.shigarosan.com/>

発行責任者 宮内 眞子
編集委員 藤野 健太郎 菅 泉